

平成 28 年 12 月 10 日

報 告 書

那須塩原市議会議長 中村 芳隆 様

那須塩原市議会 第 3 班 班 長 櫻田 貴久
記録者 玉野 宏

下記のとおり報告会を開催しましたので、報告いたします。

記

1. 日 時 平成 28 年 11 月 14 日（月）午後 6 時～8 時

2. 会 場 黒磯公民館

3. 担当議員と役割

【担当議員】

齊藤 誠之 （班長）

吉成 伸一 （司会者）

鈴木 紀 （6 月・9 月定例議会報告）

鈴木 伸彦 （議会活性化検討特別委員会報告）

山本 はるひ （放射能対策検討特別委員会）

君島 一郎 （総合計画審査特別委員会報告）

玉野 宏 （記録）

4. 参 加 者 市民 20 人（男性 14 人、女性 6 人）

5. 主な意見・要望 … 別紙記録様式のとおり

6. 報告会の運営について

- ・開催時間が遅かったが、多く参加していただけた。
- ・特別委員会の報告（活動がない委員会も報告すべき）
- ・広報車の効果について、報告委員会で検証すべき。
- ・意見交換会を行う際、2 つのグループの意見が交錯してしまう。
- ・一人の発言時間の制限について、進行（班長）の仕方に改善が必要。

■第8回（平成28年11月開催）

会場 黒磯 公民館

報告事項	質 疑 ・ 意 見	回 答 内 容
定例会 審議結果	なし	
議会活性化 検討特別 委員会	なし	
総合計画 審査特別 委員会	なし	

■第8回（平成28年11月開催）

会場 黒磯 公民館

意見交換	意 見 ・ 要 望	回 答 内 容
共通テーマ	A班 ①加入のチェックは誰がやっているのか。 ②加入していない方はごみ処理をしなければ。 ③加入していない人は、自治会長が勧誘をする。 ④松浦町自治会は（防犯灯、消防費）で2,000円を徴収アパート、マンションは不動産業者と契約をして徴収している。 ⑤自治体ではなく、市が行うべきである。 ⑥自治会加入の必要性を感じていない若い人が多いのでは。 ⑦加入のメリットを伝えられれば良いのでは。 ⑧若い人が子育て等で繋がりが必要。（出る機会がわからない） ⑨地域のコミュニケーションのために必要。（子どもと老人） ⑩自治会と公民館活動の区分が不明なので連携を明確にする。 ⑪地域で出来ることは地域でやる。 B班 ⑫行政は自治会のことをわかっていない。 ⑬自治会に入りましょうは無責任。 ⑭自治会費のことを知ってほしい。 ⑮街路灯と防犯灯の違い。 ⑯防犯灯が曲がっている。（市の対応なし） ⑰自治会費が高い、安いでは不公平感がある。 ⑱子どもが遊んでいない。 ⑲浴衣を着るチャンスがない。 ⑳花火やスイカ割り等を自治会でやってみては。 ㉑免許証返納⇒歩道整備必要。 ㉒（中央町）少子高齢化の為役員のなり手なし。 ㉓10年経っても「区長」と言われる。 ㉔自治会長が行政連絡員を兼ねるのは行政の下請けか。（材木町） ㉕年1,500円寄付を一括で納めている。	

	②⑥例年通りでこなすだけ。変えることも難しい。1年交代だが3年ぐらいやってみたい。 ②⑦育成会という組織があるが、組織が機能していない。 ②⑧市が考えている自治会と現実の意識が違う。 ②⑨加入者数がどんどん減っていくという現実。 ③⑩敬老会や防災組織などすべきことが増。 ③⑪班長はともかく、自治会長は誰にでもできるものではない。（パソコンが出来ないと） ③⑫朝のラジオ体操（住吉町）長く続いている。	
--	---	--

班テーマ （黒磯地区のこれからを考えよう～何でも伺います～）	A班 ①運転免許証返納後安心して暮らせるように法律で 80 歳になれば返納をさせる。 ②地域で運転してくれる人を見つける。 ③子どもは地域の人と交流をして育てる。 ④子どもと老人の交流を深める。 ⑤地域の色々な特技の持ち主のリストがあれば、交流しやすい。 ⑥社会に出た時に人となる子育てをする。 ⑦地域で子どもの出る機会を多くする。 ⑧シルバー大学の卒業生の活用を図る。 ⑨生きがいサロンの活動を松浦町ではしている。 B班 ①昔から住んでいる人が多い。 ②住むのにはとても便利なところ。 ③若い人がいなくて、ひとり暮らしの高齢者が多い。 ④個人情報はある程度わかっているというようなのが黒磯地区だということ。 ⑤転居してくる人の中には、これまで住んでいたところで市が何でもやってくれていたというところから来る。 ⑥那須塩原市の自治会組織などの自分たちでやれというのがなじめないという方がいる。 ⑦新しく家ができて住んでいる住民がふえている地区にもともと住んでいる方がいるというところ。 ⑧非常に自治会費とか自治会の考え方が違う。消防団に対しての考え方も違う。ちょっと自治会に戻ってしまった。 ⑨自治会で寄附金を任意に払うとか、自分たちでみんな集めるとかというのは賛成と反対のいろんな意見が出るということでした。 ⑩顔見知りをつやそうという意見が出ました。 ⑪市が今高齢者の見守りを行政から自治会に要請をしているけれども、どういうふうにして組織をつくっても、ひとり暮らしの高齢者自身は実は関与してほしくない。 ⑫市から何かやれと言われなくても、社協からの補助金などを使って、自分たちで芋煮会をやるとか行事ができる。	
--	---	--

	⑬顔見知りになるということはとても大切なこと。 ⑭地域の自主防災の組織をつくっても、顔見知りでなければ全く機能しないと。ただ集まるだけで終わってしまうというような意見が出ました。	
その他	A班 ①大気汚染及び騒音等に係る環境保全要求。 ②市長と語り合う場所をもうけてほしい。 ③道路整備計画を明確にしてほしい。 ④議場コンサートの効果はどのようになっているのか。 B班 ①自治会加入率100%に近い。 ②メリットとデメリットがある。(加入したとたんにお金を取られる) ③加入の説得率が弱い。 ④防犯灯(事故が起きたらだれが責任を取るのか)。 ⑤自主活動に支援しているのが行政。 ⑥学校へのエアコン設置反対。 ⑦学校トイレの洋式化を進めて欲しい。 ⑧東原小学校下の十字路に信号機を設置してほしい。 ⑨市議選について自己評価をしてほしい。(見えない) ⑩行政と議会が真面目に考えないと自治会加入率があがらない。 ⑪「自治会に加入しよう」ののぼり旗を立てている。 ⑫新幹線の補助金をもらう条件に自治会加入がある。 ⑬なのに市役所が「自治会」を任意の団体だというのはおかしい。	④終了すると大体の人はかえってしまう。